

## 第2章 普通会計財務書類



### 1. 貸借対照表

貸借対照表とは、紀の川市が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その財産（資産）をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを表した財務書類です。

紀の川市の平成20年度普通会計貸借対照表の要旨は、以下のとおりとなっています。（詳細は25ページ参照）

#### 貸借対照表（普通会計）の要旨

（平成21年3月31日現在）

（単位：百万円）

借 方			貸 方		
		平成19年度 からの増減			平成19年度 からの増減
<b>[資産の部]</b>			<b>[負債の部]</b>		
<b>1 公共資産</b>	<b>114,854</b>	<b>1,399</b>	<b>1 固定負債</b>	<b>34,474</b>	<b>963</b>
(1) 有形固定資産	114,809	1,444	(1) 地方債	28,397	619
(2) 売却可能資産	45	45	(2) 退職手当引当金	6,077	344
<b>2 投資等</b>	<b>7,871</b>	<b>901</b>	<b>2 流動負債</b>	<b>3,357</b>	<b>105</b>
(1) 投資及び出資金	381	5	(1) 翌年度償還予定地方債	3,061	147
(2) 貸付金	237	49	(2) その他	296	42
(3) 基金等	6,641	979	<b>負債合計</b>	<b>37,831</b>	<b>858</b>
(4) 長期延滞債権	1,203	67	<b>[純資産の部]</b>		
(5) 回収不能見込額	591	33	1 公共資産等整備国庫補助金等	24,519	520
<b>3 流動資産</b>	<b>5,770</b>	<b>59</b>	2 公共資産等整備一般財源等	77,461	826
(1) 現金預金	5,654	53	3 その他一般財源等	11,320	109
(2) 未収金	116	6	4 資産評価差額	4	4
<b>資産合計</b>	<b>128,495</b>	<b>439</b>	<b>純資産合計</b>	<b>90,664</b>	<b>419</b>
			<b>負債・純資産合計</b>	<b>128,495</b>	<b>439</b>

紀の川市の普通会計の資産総額は128,495百万円で、439百万円減少しました。一方、将来の世代の負担である負債は37,831百万円となり、主に地方債などを中心に858百万円減少しました。また、資産から負債を差し引いた残額であり、現在までの世代が負担した部分である純資産は419百万円増加し、90,664百万円となりました。

資産合計が減少したものの、それ以上に借入金などの負債が減少しており、将来世代への負担が減少しています。